

アメリカ合衆国・IPFW からのレポート

教育文化学部学校教育コース中学英語課程3年次（寺井雅人）

○留学先:アメリカ合衆国・IPFW

○留学期間:2015年 8月～ 2016年 5月(前期 8月中旬～ 12月中旬、後期 1月中旬～ 5月中旬)

○生活費:1ドル=123円

渡航費: 往復 約33万(旅行会社を通した為、帰りの飛行機の日には自由に設定出来る。)

寮費: 一学期につき 約41万(部屋のタイプにより値段が変わる。また電気代水道代は月8千円で使い放題)

教科書: 日本の教科書の数倍はするが、中古で買えるものも多く、授業によっては購入の必要がないものもあります。

食費: 全体的に日本よりも少し高い。学食は平均一回の食事につき1000円ほど

○寮の環境:

1人部屋から4人部屋まで選べます。さらに、トイレやシャワーがそれぞれの部屋にあるものがよいか、また、リビングにあるものをシェアするタイプのもが良いかも選ぶことも可能です。

私は4人部屋に住んでおり、トイレとシャワーはそれぞれの部屋です。ベッド、机、タンス、鏡付きのクローゼットが備え付けられてあり、リビングにはソファ、机、食器洗い機、コンロ、電子レンジ、そして冷蔵庫が備え付けられてあります。私の住んでいる Building は新しいものなので洗濯機が部屋に備え付けてあるが、ほとんどの Building は集合洗濯場になっています。各フロアにそれぞれ広場があり、一階には大きいテレビやソファ、二階にはコンピュータールーム、三階または四階にはビリヤード台または卓球台もしくは両方が備え付けられています。

○大学のサポート状況:

まず、学生ひとりひとりにアドバイザーがいて(おそらく僕と同じ Meg さんになると思います)交換留学生はクラスを登録するときに必ずアドバイザーと一緒に相談しながら決めます。しかもそれだけではなく、様々なイベントの情報などを毎回メールで送ってくれるし、何かあったらすぐ相談にのってくれます。さらに、一人一人にメンターという人が付きます。アドバイザーとの違いは彼らが学生であるということです。ですからもっと身近に僕らのことをサポートしてくれるし、学生ならではの相談などもしやすいです。車で色々な所に連れていってくれたりもします。アドバイザーとメンターは international office というものに所属しています。International office が主に留学生のお世話をしてくれます。

○授業の様子:

IPFW は宮崎大学のように University なので様々な学部があり、様々なクラスがあります。僕は5つのクラスを受講しています。クラスは大体20人くらいで構成されています。僕以外はみんなアメリカ人なので緊張はしますが、皆フレンドリーだし、英語の勉強には最高の環境です。日本と違いアメリカでは1つの科目につきだいたい週に2回授業があります。時間も基本50分ですが、1時間半のものや2時間のものまで様々です。僕の受講していた授業を例に挙げると、フランス語は週4回、50分。数学は75分、週2回などなどです。もう一つ日本との明らかな違いは、期末テストが単位に占める割合が少ないことです。出席、頻繁に行われるテスト、そしてグループプロジェクトなど様々な要素が成績を決めます。ですので、毎回毎回緊張感を持って授業に参加することができます。

～宮大生のための交換留学～

○他の留学生たちの様子:

秋学期の前に行われたオリエンテーションでは、International student と Exchange student 合わせて約100人以上いました。その中で Exchange student は二割以下で残りは通常の学生と入学しているいわゆる International student です。彼らはもちろん4年間通うことになります。どんなところから来ているのかというと、インド、フランス、メキシコ、スペイン、ブラジル、バングラディッシュ、中国、韓国、ベトナム、スロベニア、ロシア、ミャンマー、トルコ、サウジアラビア、台湾、タイ、ドバイ、ナイジェリア、イタリア、アイルランドなどなど世界各国から集まっています。日本人は大学で僕だけです。大学の中に語学学校があり、何人かの日本人はいますが大学には僕だけです 笑

彼らはフレンドリーだし、日本はかなり人気があるみたいなのでみんな喜んで話しかけたりしてくれます。ほとんどが International student なので 17 歳から 20 歳くらいが多いです。英語力はものすごく高く、TOEFL はほぼ満点という人ばかりだし、日常会話などとにかく完璧です。Exchange student のみんなでも日常会話はペラペラだし TOEFL の点数を聞いても80点後半から～110点ばかりです。

こちらに来て気づいたのですが、英語系を専攻にしている留学生はアジア圏だけでかなり少数です。10人くらいでしょうか。ほとんどは Computer science などの Engineer 系(工学部)の学部に所属しています。

○現地学生との交流:

日本はアメリカでは有名だし、日本人が少ないことからかなり人気です。僕が日本人だとわかるみたいなので笑顔で話しかけてくれる学生も多くいます。ルームメイトも全員アメリカ人ですがよく日本のことについて質問してきいたりするし、遊びにも連れて行ってくれます。IPFW はアメリカの真ん中にあるので本当にアメリカ人ばかりです。日本語のクラスもあるので日本語を学んでいる学生も少なくはありません。アメリカの色々なところを旅行してみました。日本人が一番ちやほやされる場所ではないのかなと思います。本当にみんな優しくいい人ばかりです。

○街の様子:

Indiana 州は全体的に田舎で交通の便などを含めて Fort Wayne はまさに海のない宮崎だと思ってください 笑 出かけるときはルームメイトや友達に乗せてもらっています。歩いていけない距離ではないので歩いて行ったりもしますが。周りに何も無いというわけではなくレストランやショッピングモールなど沢山あります。ですので、不便には全く感じませんし、バーも歩いて10分のところにあるので友達と飲みに行ったりもしています。寮のとなりにスーパーと薬局、ファストフード店があります。

アメリカの真ん中に位置しているので、西海岸、東海岸そしてカナダ、メキシコが同じ距離にあるので旅行しやすいし、しかも僕が NY や LA など抜いて圧倒的に観光に行くべき都市のシカゴが近いというのも良い点です。旅行が好きなので留学生の友達とシカゴやカナダのトロントなどに行きました。

○その他:

Facebook にほかにも写真を上げているので是非覗いてみてください。質問があればどんどんメッセージを送ってください。

～宮大生のための交換留学～

